学校番号	３２５

平成３１年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ（理）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　現代文Ｂ」　第一学習社						
副教材等	最新国語便覧（浜島書店）　意味から学ぶ頻出漢字３０００（第一学習社） 図でつかむリード現代文３（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

さまざまな作品に触れ、人生や社会について考えを深めてくれることを期待する。たくさんの文章を読んで、豊かな感性、発想力、思考力、表現力を高め、自由な考え方ができ、適切なコミュニケーションが取れる人になりましょう。

２　学習の到達目標

様々な文章に触れ、語彙を増やし、読解力と表現力を高める。
多くの作品を味わうことで、様々な視点、感性に触れ、自身の考えを豊かにする。
文章を書いたり、話したりする機会を持ってコミュニケーション能力を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	知識・理解
観点の趣旨	国語で伝えあう力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、書き、的確に聞きとったり、記述したり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による運症を書き、自分の考えをまとめている。また、課された課題に対して的確な文章を書くことができる。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、マイメモリー、感想文等）	授業時の発表 記述の点検 （ノート、マイメモリー等） 定期考査	記述の点検 （ノート、マイメモリー、作文、感想文等） 定期考査	記述の点検 （ノート、マイメモリー等） 定期考査 小テスト	記述の点検 （ノート、マイメモリー等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	評論	未来世界への責任	○		○	◎		a:考えの進め方や、筆者の心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 c：生徒の身近に起こっている問題について、論理的に考えを深めている。 d：筆者の考えの筋道を的確にとらえている。筆写の述べる経済学の矛盾と未来世代に対する考察が読みとれている。	行動の観察 ノート、 ワーク マイメモリー 定期考査
1	小説	教材:舞姫 近代日本の国際状況と、当時の日本人と西欧人の心情の理解	○			◎	○	a: 登場人物の考えや、心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 d：登場人物の考えや、心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。併せて筆者の考えや信条を読み取っている。 e：森鷗外の文学的な位置や他の作品について、簡単に理解している。また、筆者の用いた古語や漢語の意味を理解している。	行動の観察 ノート、 ワーク マイメモリー 定期考査
2	評論	言語が見せる世界	○			◎		a: 考えの進め方や、筆者の心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 d: 筆者の考えの筋道を的確にとらえている。筆者の述べる言語学に対する考察の仕方が読みとれている。	行動の観察 ノート、マイメモリー、ワーク、小テスト 定期考査

2	評論	いのちのかたち	○	◎	○	○		a: 考えの進め方や、筆者の心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b:生徒の身の回りに起こっている出来事に関して、自分なりに考察し、クラスメートの前で、意見を述べることができる。 c: 生徒の身の回りに起こっている出来事に関して、自分なりに考察し、意見を述べる文章が書けている。 d:筆者の考え方や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。	行動の観察 ノート、 マイメモリー 小テスト 定期考査
3	小説	教材:枯野抄 古典に取材した作品を味わい、議論する	◎			◎	○	a : 考えの進め方や、筆者の心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。古典に取材した作品を進んで読もうとしている。 d: 小説に描かれている情景や、登場人物の心情の変化など、文章の筋道を追いながら的確にとらえている。 e :芥川龍之介の文学的な位置や、表現の仕方など理解している。	行動の観察 ノート、 マイメモリー 小テスト 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d :読む能力
e ：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。